

各 位

2024 年 10 月 25 日

SBI ホールディングス株式会社

SBI 地域活性化支援株式会社

「大光 SBI 地域活性化ファンド」における投資決定に関するお知らせ

SBI ホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：北尾 吉孝、以下「当社」）の連結子会社である SBI 地域活性化支援株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：後藤 健）は、同社が運営する「大光 SBI 地域活性化ファンド」（正式名称：大光 SBI 地域活性化投資事業有限責任組合、以下「本ファンド」）の第1号案件として株式会社プラントフォーム（本社：新潟県長岡市、代表取締役 CEO：山本 祐二）に対する投資を決定いたしましたのでお知らせいたします。

本ファンドは、2023 年 5 月 30 日に発表（※）のとおり、SBI 地域活性化支援株式会社と、株式会社大光銀行の 100%子会社である大光キャピタル&コンサルティング株式会社が共同で設立運営することで、出資等を通じた資金繰り支援に加えて、両者の協業による販路拡大や人材育成等の本業支援、SBI グループのリソースを活用したイノベーション創出に取り組み、地域経済の持続的発展および地方創生に貢献することを目指しております。

株式会社プラントフォームは、養殖と水耕栽培を同時に行う循環型農業「アクアポニックス」のパイオニア企業であり、アクアポニックスのプラント運営事業および参入支援事業に取り組む、新潟県長岡市発のスタートアップ企業です。国内で初めてアクアポニックス栽培による有機野菜の大量生産、通年生産を実現し、2021年に「J・Startup NIIGATA」に選出され、2024年には、経済産業省の「はばたく中小企業・小規模事業者300社」にも選定されています。また、2023年には長岡プラントで養殖するチョウザメから、新潟県産としては史上初となる、キャビアの製品化にも成功しています。貴重な水資源を有効に活用した持続可能な食糧生産モデルの実現に向けて、アクアポニックス技術の更なる発展と新技術の開発に取り組んでいます。SBI グループでは、地方創生への取り組みに積極的に参画するため、本ファンドによる投資を通じ、将来性ある地域のベンチャー企業の成長を支援し、地域経済の発展に貢献してまいります。

記

1. 株式会社プラントフォームの概要

企業名	株式会社プラントフォーム
代表者	代表取締役 CEO 山本 祐二
所在地	新潟県長岡市上前島1丁目1863
設立日	2018年7月
事業内容	アクアポニックスプラント運営事業、アクアポニックス参入支援事業
ホームページ	https://www.plantform.co.jp

2. 大光 SBI 地域活性化ファンドの概要

正式名称	大光 SBI 地域活性化投資事業有限責任組合
設立日	2023 年 7 月 1 日
ファンド総額	5 億円
運営会社	大光キャピタル&コンサルティング株式会社、SBI 地域活性化支援株式会社
運営期間	10 年間
投資対象	株式会社大光銀行の営業地域における次の企業の株式、新株予約権、または新株予約権付社債等を投資対象とする。 ①将来性のある事業に取り組むスタートアップ企業 ②新たな成長・発展を目指す中小・中堅企業 ③事業承継に課題を持つ中小・中堅企業 ④経営改善・企業再生に取り組む中小・中堅企業

※ 2023年5月30日の当社プレスリリースをご参照ください。

以 上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI 地域活性化支援株式会社 小出 03-6850-7858